

第2期ロジスティクス環境会議
グリーンサプライチェーン推進委員会 第5回源流管理分科会 議事録

I. 日 時：2007年5月17日（木） 16：00～18：15

II. 場 所：東京・港区 芝パークホテル 別館3F カトレア

III. 出席者：13名

IV. 内 容：

1) チェックリストについて

V. 開 会

事務局より開会が宣された後、以下のとおり議事がすすめられた。

VI. 議 事

1) チェックリストの項目について

(1) 第4回分科会 ペンディング項目について

事務局より、資料1-1、1-2、参考資料4、5に基づき、第4回分科会においてペンディングとなっていた項目に関する事務局素案の説明が行われた後、各項目の検討に入った。

【主な意見】

(チェック項目1から16の小分類タイトル)

幹 事：案2と比較すると、案1の方がふさわしいのではないか。

委 員：グリーンロジスティクスという語句は必要だが、案1にある“取組み”よりも、案2にある“仕組み・体制”の方がふさわしいのではないか。

(チェック項目20から25)

幹 事：事前評価といったことまで求めるのは、少し難易度が高いと考える。

委 員：“ユニットロードサイズを意識した製品開発”といった項目は残すべきではないか。

委 員：ユニットロードは重要なキーワードであるが、メーカーにおいてユニットロードを意識した製品開発は実施されていると考える。

委 員：事務局案にある「環境負荷の少ない輸送機関」の意味を教えてください。

事務局：鉄道及び船舶輸送をイメージしている。鉄道ではダイヤの問題、船舶ではリードタイムの問題があることから、それらを用いるためには、物流に関わる部分だけでなく、生産体制まで含めた部分で、スケジュール管理等が必要ではないかという認識でご提案させていただいた。

幹 事：輸入コンテナの空ドレージの活用といったことも、環境負荷低減のために効果のある施策の1つであることから、それらも包含されるような表現にすべきではないかと考える。

(チェック項目31、32)

委 員：案2にある「持ち戻り返品」については、当社においても解決すべき課題の1つとなっていることから、案2の方がふさわしいと考える。

(2) チェックリストの項目の検討

資料1-1に基づき、各項目の検討に入った。

【主な意見】

(チェック項目 54 から 59)

事務局：チェック項目 57 が一般的に実施されている事項かどうかご教示いただきたい。

委員：自社ではリユースできず処分するしかない梱包材を返却し、納入業者でリユースしていただくということを実施している。

委員：チェック項目 56、57 はチェック項目 53 に包含されるのではないかと考える。また、チェック項目 58 についても、チェック項目 53 に“リサイクル”という語句を追記することで包含できるのではないか。

幹事：チェック項目 59 は、内容としては細かすぎると思う。

(チェック項目 60 から 65)

幹事：チェック項目 60 から 65 と、チェック項目 53 との差異が理解できない。

事務局：小分類②については「繰り返し使用する」という視点、小分類③については「使用できなくなったものを処分する際のことを考慮する」という視点で区分している。

幹事：先ほど議論したアセスメントの内容と一致するのではないかと考える。

事務局：アセスメントの項目は“方針”であるが、この項目は“活動”であることなので、分けて設定している。

委員：チェック項目 64、65 はチェック項目 60 に包含されるのではないかと考える。

幹事：チェック項目 62、63 は細かい内容であることから、“有害物質を含まない素材を使用”や“環境負荷の少ない素材の使用”といった項目に変更してはどうかと考える。

(チェック項目 68 から 73)

委員：チェック項目 72 は、ほとんど効果がないことから、削除したほうがよいと考える。

幹事：チェック項目 71 は、「輸送距離」、「輸送トンキロ」よりも、「輸送効率」の方がふさわしいと考える。

委員：チェック項目 68 にある輸送計画には輸送ルートも含まれると考えられることから、チェック項目 68 と 70 を合わせた表現にしてはどうか。

幹事：チェック項目 68 以降は“トラック”を前提とした項目となっているが、その前に「輸送機関の選択」といった項目が別途必要ではないかと考える。

委員：輸送ルートの見直しは行うが、毎日実施するものではない。

幹事：当社では、配車担当に毎日輸送ルートを見直すことを求めている。

委員：チェック項目 69 は、届け先の要求もあることから難しいのではないか。

幹事：チェック項目 73 は、小分類②積載率向上に該当する項目だと考える。

(チェック項目 74 から 78)

委員：チェック項目 76 については、輸送事業者の立場とすると、“計画的”の有無は非常に大きな問題である。

幹事：チェック項目 74 の修正案にある“ミルクラン”の意図は理解できるが、本項目では“共同輸送”という表現がふさわしいと考える。また、調達物流については別途項目を設けてはどうか。

幹事：チェック項目 75 の“店舗”という表現を削除し、“共同配送”という表現がふさわしいと考える。

委員：チェック項目 78 にある“荷姿”という語句では、包装資材をイメージしてしまうことから、“積載方法”の方がふさわしいのではないか。

幹事：輸送計画の見直しの中に、納品条件の見直しといった項目も必要ではないか。

事務局：チェック項目 28、29、30 において、取引条件に関する項目を設定している。

委員：現在、着荷主との間で決められている納品条件だけを前提として輸送計画を策定するので

はなく、納品条件そのものを見直すアクションをかけることも必要ではないか。

(チェック項目 79、80)

委員：チェック項目 79 の追加案にある“タイヤに窒素ガスを注入する”メリットを教えてください。

事務局：タイヤの圧が減るのが遅くなるということである。

委員：“燃費向上のために”といった表現を加えてはどうか。

委員：排ガスの点検といったことも追加してはどうか。

委員：チェック項目 80 の“タンカーの二重船殻化”は不要ではないか。

委員：荷重の偏りを防ぎ、荷崩れを防止するといった項目の追加が必要ではないか。

(チェック項目 81 から 85)

幹事：5つの項目が設定されているが、少し細かすぎる印象を受ける。

委員：「エコドライブ活動の推進」といった表現でまとめるのも一案ではないか。

幹事：「デジタコを用いたマネジメントを実施している」といった項目が必要ではないか。

幹事：タイヤチェーンや工具、予備タンクなど、不要なものを積んでいるかどうかの確認といったことも当社では行っている。

(チェック項目 86 から 89)

委員：追加案にあるバイオマス燃料はぜひ項目に加えるべきと考える。

委員：チェック項目 87 は不要だと考える。

委員：チェック項目 88 にあるパワーゲートを使用しても騒音はあまり変わらないのではないかと。また、宅配便がよく利用している台車はたしかに音がしない工夫をされているが、チェック項目として含めるほどのものではないと考える。

委員：チェック項目 89 は具体的にはどのようなことを意味しているのか教えてください。

委員：「ハイブリッド車でバッテリーによる蓄冷」ということではないか。

幹事：建物から電力を供給する方法もあるのではないかと。

事務局：チェック項目 101 に該当項目が存在する。

幹事：燃費の新長期規制の項目も必要ではないかと考える。

(全体を通して)

幹事：分類ごとの項目数に偏りが出ているところもあると考えられるため、項目の確認をしつつも、全体設計を考えた検討が今後必要になるのではないかと。

【決定事項】

- ・第4回分科会でのペンディング項目、及びチェック項目 54 から 89 の見直しがなされ、別紙項目 77 項目となった。(別紙参照)
- ・以下の項目については、事務局で原案を作成し、次回委員会前に提示することとする。
 - ①チェック項目 62、63
 - ②チェック項目 68 の前に輸送機関に関する項目を設定
 - ③チェック項目 68
 - ④チェック項目 75
 - ⑤2.2①に追加する納品条件に係る項目
 - ⑥チェック項目 79
 - ⑦チェック項目 81 から 85
 - ⑧2.2⑤に追加する新長期規制に係る項目

- ・以下の項目については、堀口委員に原案を作成いただき、次回委員会前に提示することとする。
⑨2.2③に追加する荷崩れ防止に係る項目

2) その他

第5回委員会については6月21日（木）14時－17時で開催することとなった。会場等の詳細は別途連絡することとする。

また、スケジュールを勘案し、少人数で残りの項目（チェック項目90移行）の検討を実施し、素案を作成した後、次回委員会でその内容を審議することとする。メンバーについては別途事務局から連絡することとする。

VIII. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了した。

以 上